

新 いわた

文化財だより 秋季特別号

磐田市教育委員会文化財課 平成 22 年 9 月 21 日発行

◎目次◎

☆遠州各地で秋の祭典が始まる P1・2

☆お詫びと訂正 P2

遠州各地で秋の祭典が始まる

10月1日～3日に府八幡宮（中泉）の祭典がおこなわれます



9月11・12日に見付天神裸祭も終わり、10月からはいよいよ遠州の各地で豊年万作を祝う秋祭りが始まります。10月1～3日に行われる中泉地区の府八幡宮の祭礼をかわきりに、11月初旬の森町三島神社の「森の祭り」までの1ヶ月間、この地域ではどこかで、祭り囃子を奏でる笛・太鼓の音と、屋台を引き回す掛け声が聞こえてきます。文化財だより第66号では貴船神社(掛塚)の祭典を紹介しましたが、今回は特別号として府八幡宮の祭礼を紹介し、10月中の土・日曜日に行われている磐田市の秋祭りにご招待します。

※ 10月第1週には府八幡宮のほか周辺地域の神社の祭礼も行われています。

★ **その他に市内で行なわれる主な祭典の日程をご紹介します。** ★

と き	祭 典	場 所
平成 22 年 10 月 9 日(土)・10 日(日)	若宮八幡宮(郷社)祭典	豊田(豊田南)地区
平成 22 年 10 月 9 日(土)・10 日(日)	六社神社祭典	福田地区
平成 22 年 10 月 9 日(土)・10 日(日)	天白神社祭典	豊田(池田)地区
平成 22 年 10 月 16 日(土)・17 日(日)	掛塚まつり	掛塚地区
平成 22 年 10 月 2 日(土)・3 日(日)南(広瀬)地区 / 9 日(土)・10 日(日)東(敷地)地区 / 16 日(土)・17 日(日)北(野部)地区		豊岡地区

祭りの舞台 ー府八幡宮ー

祭りの舞台となる府八幡宮は、天平年間(729～748年)に桜井王(さくらいおう)が、遠江国司として赴任された時、遠江国府に勧請した神社と伝えられています。境内には寛永12年(1635年)に建てられた楼門(静岡県指定文化財)や江戸時代後期に建てられた拝殿・幣殿・中門(磐田市指定文化財)が並び、その歴史を感じることができます。



祭りの歴史

明治2年の『西光寺日記』に囃子の音に誘われ住職が府八幡宮祭礼を見に行った記録があります。これが最も古い記録にあたりますが、近隣の記録から、江戸時代の末期には、屋台(山車)を引き回す祭が行われていたと考えられます。



絢爛な屋台 2輪と4輪 山車(だし)

中泉では屋台のことを「山車」と呼び、趣向を凝らし飾りを施した山車が引き回されます。山車には2輪と4輪がありますが、2輪(※)は遠州地域独特な屋台で、御所車に高覧がつきます。※遠州横須賀などでは一本の柱の上に飾りつけた2輪屋台(一本柱万度型)が使われます。



七度半の使いと命魚奉獻

府八幡宮の祭典には、国司の使いとして総社淡海国玉神社の神職が生きた魚を献上し、祝詞を奏上する特別な神事(命魚奉獻)が行われます。この神事にあたり、府八幡宮から国司に「七度半の使い(※)」をだしたという故事が伝えられています。3日の12時20分頃に境内の北東側の神事場で行われます。

※国司への使いが7度にも及び、8度目の途中で国司の行列に会うことができたとの故事。



府八幡宮の例大祭は10月1日に前夜祭が行われ、2日には例祭、3日には神幸祭が行なわれ、中泉中心街に各町自慢の屋台17台が引き回されます。

お詫びと訂正

文化財だより第66号で紹介した府八幡宮の祭礼の日程に間違いがありました。深くお詫びし、府八幡宮の祭礼日を以下の通り修正いたします。

10月9・10日→10月1～3日

発行：磐田市教育委員会文化財課
(磐田市埋蔵文化財センター)
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1
電話：0538(32)9699
FAX：0538(32)9764
Mail：bunkazai@city.iwata.lg.jp